

Touch-B.R.A.I.N.

Touch-Blitz Reflash and Advanced Information Network

Exclusive for the 86/BRZ

INSTALLATION MANUAL

- 【注意】 本製品は製品改良のため予告なく本体ソフトウェアをバージョンUPすることがございます。そのため本書と製品の内容が若干異なる場合があります。
また、本文中の画面表示及び数値は説明用に加工している場合があります。
- 【注意】 本製品はエンジンECU制御情報をモニタリングする装置です。
そのため、本製品と車両の純正メーターの指示値に多少誤差が生じる場合がありますが本製品の故障ではありません。
- 【注意】 本製品は特定の車種専用品です。
対応車種以外の車両に接続した場合、本製品は正常に動作しません。
最悪の場合、本製品および車両に不具合が生じる可能性がありますので、
適合車型以外には絶対に使用しないでください。
- 【注意】 本製品はノーマルECU車両を前提に製作されております。
純正以外のECUや書き換えECUの搭載車では正常に動作しない場合があります。
また、エンジンECUに擬似信号を送信する製品と併用した場合、
本製品が異常値を指す可能性があります。
- 【注意】 車両をディーラーへ入庫される際は、本製品を故障診断コネクタ(OBD IIコネクタ)から取り外して入庫してください。
ディーラーによっては故障診断コネクタ(OBD IIコネクタ)に社外製品が接続されていることで入庫を断られる可能性があります。

BLITZ

パーツリスト	P. 2
注意事項	P. 3-4
取り付け方法 - 接続方法	P. 5
取り付け方法 - 固定方法	P. 6
メニュー説明 - アイコンメニュー	P. 7
メニュー説明 - ショートカットメニュー	P. 8
画面説明 - Digital	P. 9
画面説明 - Needle	P. 10
画面説明 - Trial (LAP 計測)	P. 11
画面説明 - Trial (TIME 計測)	P. 12
画面説明 - Log	P. 13-14
画面説明 - Com (故障診断)	P. 15
画面説明 - Eco	P. 16
画面説明 - VSC/TRC	P. 17-18
表示項目一覧	P. 19-20
設定画面 - 基本設定	P. 21-22
設定画面 - 車両設定	P. 23-24
設定画面 - 燃費設定	P. 25
設定画面 - モニター設定	P. 26
設定画面 - リセット・デモモード	P. 27
オプションパーツについて	P. 28
フラッシュメモリの使用について	P. 29
バージョンアップについて	P. 30
トラブルシューティング	P. 31
製品保証	P. 32
カスタマー登録	P. 32
お問い合わせ	P. 33

パーツリスト

- 装着前に必ず不足品がないかご確認ください。
- サイズはおおよその値を記載しております。また、予告なく仕様変更する場合があります。

 <p>※ 本体サイズ : 130×75×15mm ※ ハーネス長 : 1500mm</p>	 <p>※ ハーネス長 : 500mm</p>	 <p>※ ハーネス長 : 1500mm</p>
<p>本体 × 1</p>	<p>OBD ハーネス × 1</p>	<p>シガープラグ × 1</p>
	 <p>※ 両面テープ付属</p>	 <p>※ 裏面に両面テープ付 ※ 仕切り板の下側に入っています</p>
<p>モニターホルダー × 1</p>	<p>アタッチメント × 1</p>	<p>台座プレート × 1</p>
 <p>※ 長さ : 850mm</p>	 <p>※ 長さ : 100mm</p>	
<p>ストラップ × 1</p>	<p>タイラップ × 2</p>	<p>取扱説明書・保証書 × 1</p>

注意事項

この取扱説明書は、お客様が本製品を安全に、正しく組み立て、装着し使用していただくために、装着前ならびに組み立て前に必ずお読みください。また、本製品をご使用になられている期間は、この取扱説明書を大切に保管し、売却、譲渡の際は、本製品に添付してお渡してください。品質には万全を期しておりますが、誤ったご使用方法や取り扱いによって受けられた損害や、改造、変造など行った製品を使用して受けられた損害については、弊社はその一切の責任を負うことができませんので予めご了承ください。

※ 本製品および付属品は、改良のため予告なく変更することがあります。

表示項目の説明（シグナルワードとその意味）



警告

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が死亡または重傷を負う可能性が想定される危険な状況を示します。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定され、また物質損害の発生が想定される状況を示します。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が死亡または重傷を負う可能性が想定される危険な状況を示します。

- ・ 本製品は、DC12V 車で車体（ボディ）アースの車両専用です。
DC24V または 12V・24V 兼用車に使用しないでください。火災の原因となります。
- ・ コネクタを外す場合、ハーネスを引っ張らず、必ずコネクタを持って取り外してください。
また、配線にはヒューズを取り付けたり、車体絶縁部や他の電装品と接触するような配線を取らないようにしてください。
- ・ 本製品の取付け時に、電気配線や配管類を傷つけないよう注意してください。
ショートなどによる火災、電装部品・エンジン・車両の破損の原因となります。
使用しない配線などは、絶縁テープを巻くなどして、必ず絶縁対策を行ってください。
- ・ 接続、取付けに関しては必ず専門の業者にて行うようお願いいたします。
ご自身で取付けを行う場合は必ず専門知識並びに車両知識のある方のもとで行い、慎重に作業をしてください。
- ・ 本製品に異音・異臭などの異常が生じた場合には、製品の使用をすみやかに中止し、販売店または弊社までお問い合わせください。
そのまま使用すると、感電や火災、電装部品の破損の原因となります。
- ・ 本製品の加工・分解・改造などは一切行わないでください。
火災・感電・電装部品の破損、焼損の原因となります。
加工・分解・改造等の形跡が見られる場合、クレーム・修理の対象外とし、車両および電装品の故障や事故が発生した場合でも、弊社では一切の責任を負うことができませんのでご了承ください。
- ・ 高温になる場所や水が直接かかる場所には本製品を取り付けしないでください。
感電・火災・電装部品の破損、焼損の原因となります。
- ・ 本製品および配線類・付属品はしっかりと固定し、視界や運転の妨げになる場所、不安定な場所に取付けしないでください。
運転に支障をきたし、事故の原因になります。
- ・ 運転者は走行中に本製品の操作を行わないでください。
事故の原因となる恐れがあり大変危険です。
- ・ 本製品は車両本来の安全装置（VSC/TRC）を解除する機能が備わっています。
本機能はサーキット走行やモータースポーツ以外の場面では使用しないでください。

注意事項

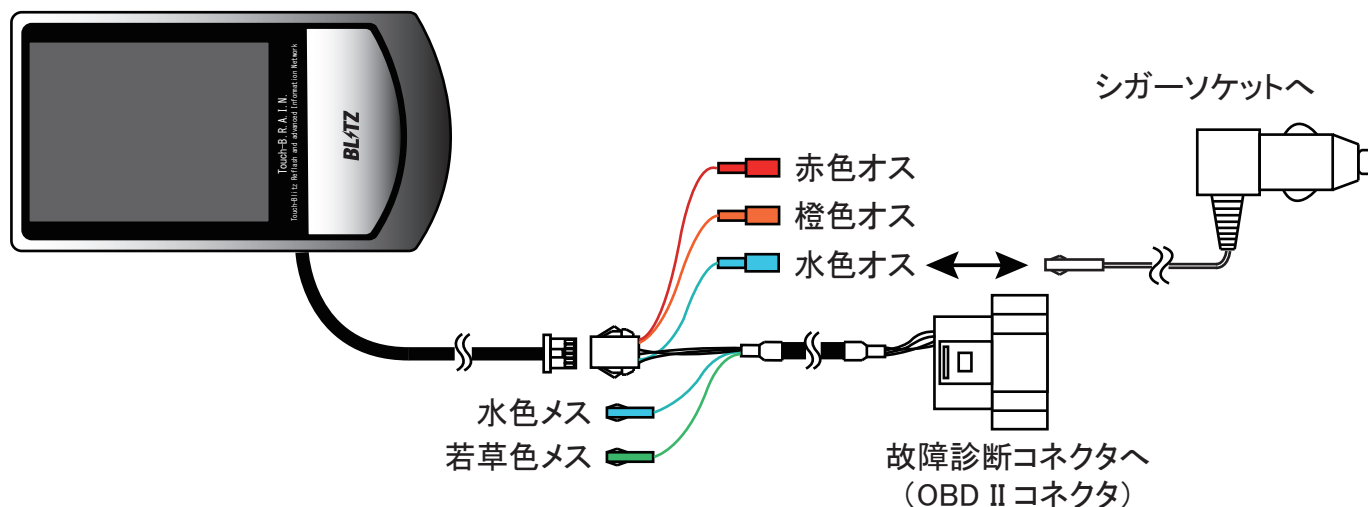
⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定され、また物質損害の発生が想定される状況を示します。

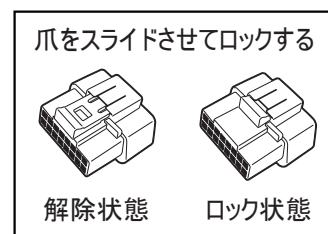
- ・ 本製品は電子部品を使用した精密機器のため、衝撃を与えたり、装着時に無理な力を加えないでください。液晶破損や動作不良を起こし、製品の故障や車両を破損する恐れがあります。
- ・ 本製品は故障診断コネクタ（OBD II コネクタ）を使用します。弊社製品を含むその他 OBD 機器とは併用することができません。
分岐等で併用すると製品や電装品の破損、車両故障の原因となります。
- ・ 本製品の近くでレーダー探知機やリモコンなどの GPS、無線電波を利用した装置を利用しないでください。電波の影響により、本製品が正常に動作しない場合があります。
- ・ 本製品には液晶ディスプレイを採用しております。装着場所や見る角度によって文字が見えにくくなることがありますが、液晶の特性によるもので異常ではございません。
見えにくい場合には装着位置（角度）を変更してください。
また、偏光サングラスを通して液晶を見ると、見る角度によって画面が暗くなったり歪んで見えることがありますのでご注意ください。
- ・ 車載ナビゲーションによっては、本製品を接続することで TV 映像が多少乱れる場合があります。本製品の異常ではありませんので、症状が発生した場合、本製品を使用しない時は車両の故障診断コネクタ（OBD II コネクタ）より取り外してください。
- ・ 本製品を長時間高温になる場所に放置しないでください。60℃以上の高温に長時間さらしたり、急激な温度差の環境でのご使用では液晶の素子が破壊されることがあります。
- ・ 定期的に点検を実施し、十分に注意してご使用ください。
この製品は耐久性を考慮して、厳選された材料を使用し、厳重な社内品質管理のもとに製造されていますが、車両の使用条件や環境などにより、耐久性が落ちることがあります。
- ・ 本製品は純正 ECU 車両を前提に企画されております。
純正以外の ECU を取り付けている場合や ECU の書き換えを行っている場合には、正常に動作しなかったり、本製品および車両に不具合が発生する可能性があります。
- ・ 取り付け作業のために一時的に取り外す純正部品は、破損・紛失しないように大切に保管してください。弊社は取り付け作業による物的損害の責任を負うことはできませんので、慎重に作業を行ってください。
- ・ ボルト・ナット類は、適切な工具で確実に締め付けてください。
必要以上に締め付けを行うと、ボルトのネジ部が破損します。
- ・ エンジンルーム内の作業を行う際は、エンジンの温度が十分に下がってから作業を行ってください。
エンジン本体、ラジエーター、排気関係の部品は高温になり、火傷の恐れがあります。
- ・ 本製品を取り付けたことにより各装置の認識に使用されるレーダーやカメラ、センサー等の認識範囲がノーマル状態と異なり誤作動を起こす可能性も考えられます。
各自動車メーカーの安全装置・衝突回避支援装置・運転支援装置装着車など誤作動の発生やそれに伴う事故などの損害について弊社はその責任を負うことができませんので、ご了承ください。

取り付け方法 - 接続方法

- 下記指示に従って、本体、OBD ハーネス、シガープラグを接続してください。



配線色	接続先
赤色オス	オプションで使用 (DAMPER ZZ-R SpecDSC)
橙色オス	オプションで使用 (DAMPER ZZ-R SpecDSC)
水色オス	シガープラグに接続
水色メス	使用しません
若草色メス	使用しません



車両側 故障診断コネクタ (OBD II コネクタ) 位置



⚠ 注意 ⚠

- ・ OBD ハーネスの接続を行う際には、必ず車両のエンジンを停止状態 (キー OFF)で行ってください。
- ・ 弊社製品を含む、その他 OBD 製品とは併用することができません。車両側 OBD コネクタの又取りや配線加工を行うと、本製品は正常に動作しません。また、本製品およびその他電装品が破損する可能性がありますので絶対に行わないでください。
- ・ 車両をディーラーへ入庫される際は、本製品を故障診断コネクタ (OBD II コネクタ) から取り外して入庫してください。ディーラーによっては故障診断コネクタ (OBD II コネクタ) に社外製品が接続されていることで入庫を断られる可能性があります。

取り付け方法 - 固定方法

- 下記指示に従って、本体を車両に固定して下さい。
- ① モニターホルダー固定用の台座プレートを付属の両面テープで車両に貼り付けてください。
- ② 台座プレートの上にモニターホルダーを乗せ、上から押しながら吸盤の圧着レバーを押し下げてください。
- ③ モニターホルダーのアーム先端の切欠きに合わせてアタッチメントをホルダーに取り付けてください。その際、アタッチメントが確実に固定できるように切欠きの奥まで確実に押し込んでください。
- ④ 付属のストラップをモニターホルダーに取り付けてください。ストラップの一方はダッシュボード等に確実に固定ができ、運転の支障にならない場所に結びつけてください。
- ⑤ アタッチメントに本体を両面テープで固定してください。
- ⑥ アームを上下させて高さを調整し、アームロックのつまみを締め付けてください。
- ⑦ アーム先端の角度を調整し、本体が動かないように角度固定ナットを締めつけてください。



⚠ 注意 ⚠

- ・ 本製品は、運転者の視界の妨げになる場所には取り付けないでください。
- ・ 本製品を長時間高温になる場所に放置しないでください。60℃以上の高温に長時間さらしたり、急激な温度差の環境でのご使用では液晶の素子が破壊されることがあります。
- ・ 本製品は電子部品を使用した精密機器のため、取り付け時に衝撃を与えたり、無理な力を加えないでください。

メニュー説明 - アイコンメニュー

- それぞれのアイコン部分をタップすることで、画面が切り替わります。



- **Digital (P.9 へ)**
各種項目を「8 連」または「4 連」のデジタルメーターで表示します。



- **Needle (P.10 へ)**
各種項目を 2 連のニードルメーターと 2 連のデジタルメーターで表示します。
デザインは「Type86」「TypeBRZ」「TypePremium」の 3 種類から選べます。



- **Trial (P.11 ~ 12 へ)**
ストップウォッチ機能によるラップ計測や 0-100km/h の加速計測、0-400m のラップ計測・タイムトライアルを行えます。



- **Log (P.13 ~ 14 へ)**
各種項目のデータロギングをすることで、本体メモリまたは MicroSD、USB メモリに走行ログを記録します。



- **Funct (P.21 ~ 27 へ)**
本製品の各種設定の変更を行えます。
(設定を行わなくても、接続するだけで本製品はご使用いただけます。)



- **Com (P.15 へ)**
故障診断と SENSOR JUNCTION BOX の設定を行います。



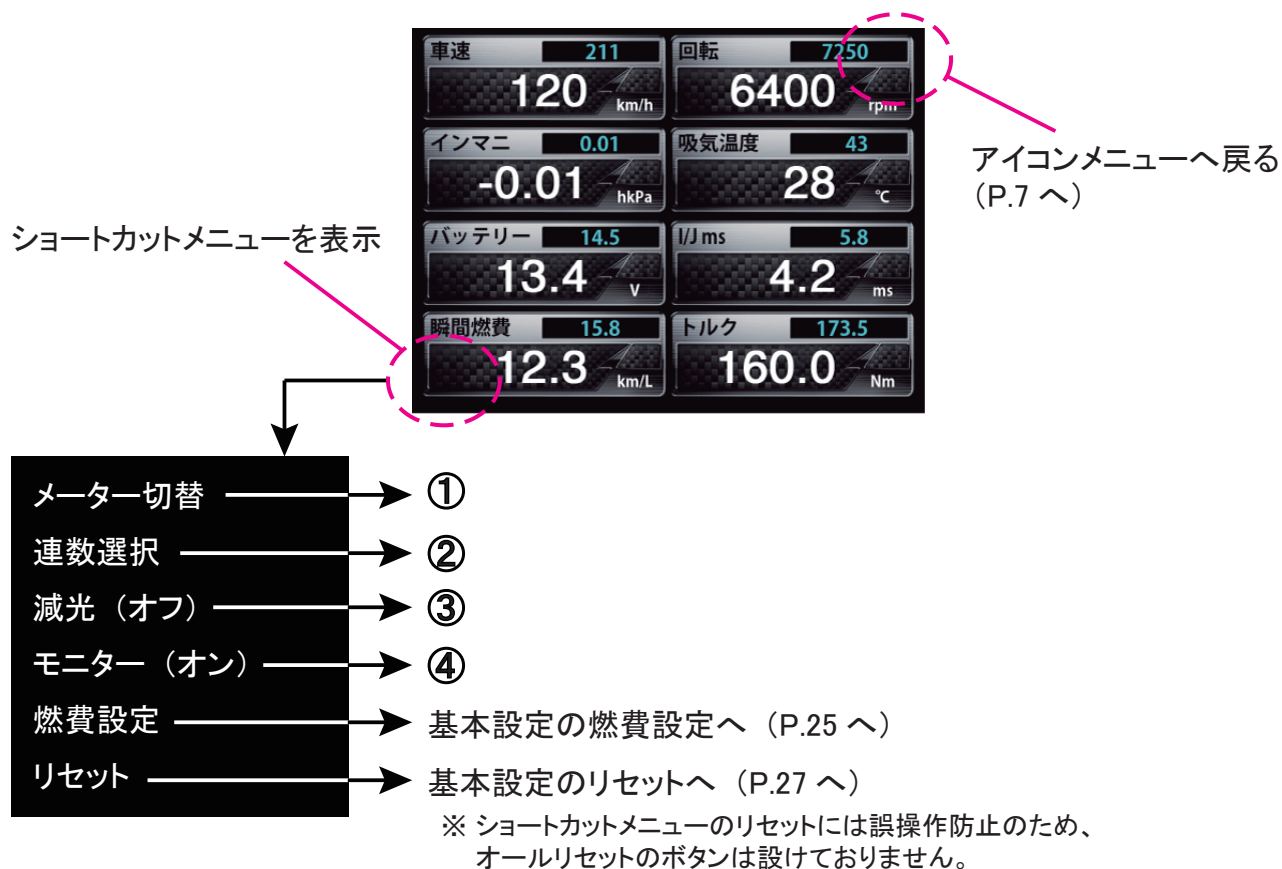
- **Eco (P.16 へ)**
走行中の瞬間燃費や区間燃費、積算燃費を表示します。



- **VSC/TRC (P.17 ~ 18 へ)**
車両純正の VSC 及び TRC 制御を完全カットすることができます。

メニュー説明 - ショートカットメニュー

- 各種画面表示中に右上のエリアをタッチすることで、アイコンメニューへ戻ります。
- 「Digital」「Needle」「Trial」「Log」「Eco」の各画面では左下のエリアをタッチすることでショートカットメニューが開きます。



① メーター切替

アイコンメニューに戻らずに、「Digital」「Needle」「Log」「Eco」「LAP 計測 (Trial)」の画面に切り替えることができます。

② 連数選択

アイコンメニューに戻らずに、「Digital」「Log」画面の連数および、「Needle」画面のデザインを切り替えることができます。
「Eco」「LAP 計測 (Trial)」画面については変更できません。

③ 減光

タッチするごとに減光機能の「(オン)」「(オフ)」が切り替わります。
減光時の明るさについては基本設定のモニター設定 (P.26 へ) で調節することができます。

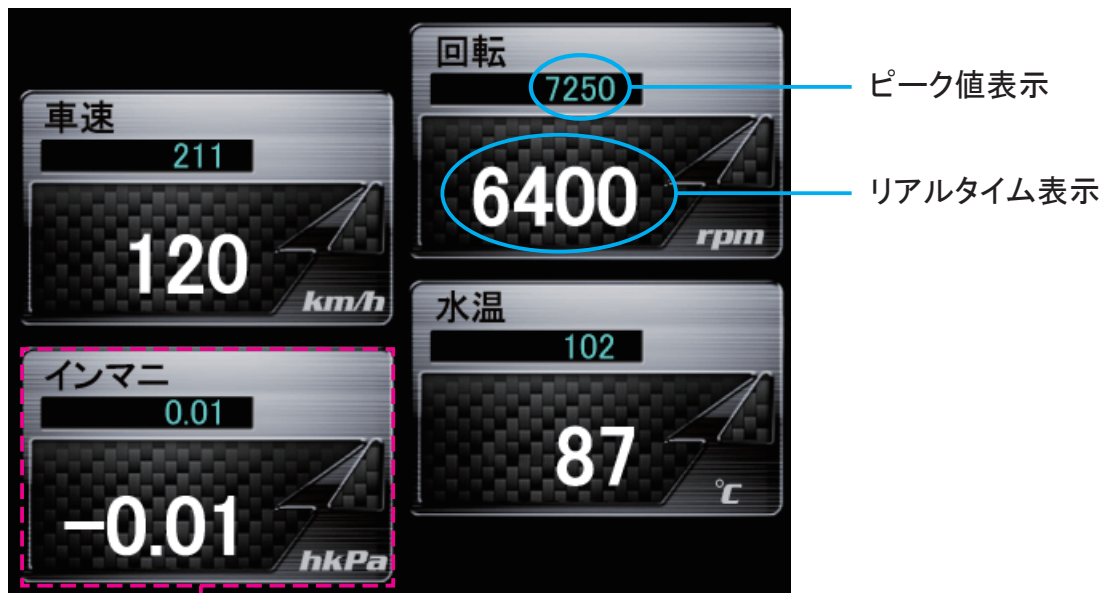
④ モニター

タッチすることでモニターをオフ (消灯状態) にすることができます。
再度モニターをタッチ (どこでも可) することでオン (点灯状態) になります。

888

Digital

- 各種項目を4連または8連のデジタルメーターで表示することができます。



項目変更 選択エリア

項目 (回転)	→	任意の表示項目を選択できます。
ワーニング	→	基本設定のワーニング設定へ (P.22 へ)
ピークリセット	→	選択した項目のピーク値のみリセットします。 全項目のピークリセットは基本設定のリセットへ (P.27 へ)

デジタル4連
縦画面



デジタル8連
横画面



デジタル8連
縦画面

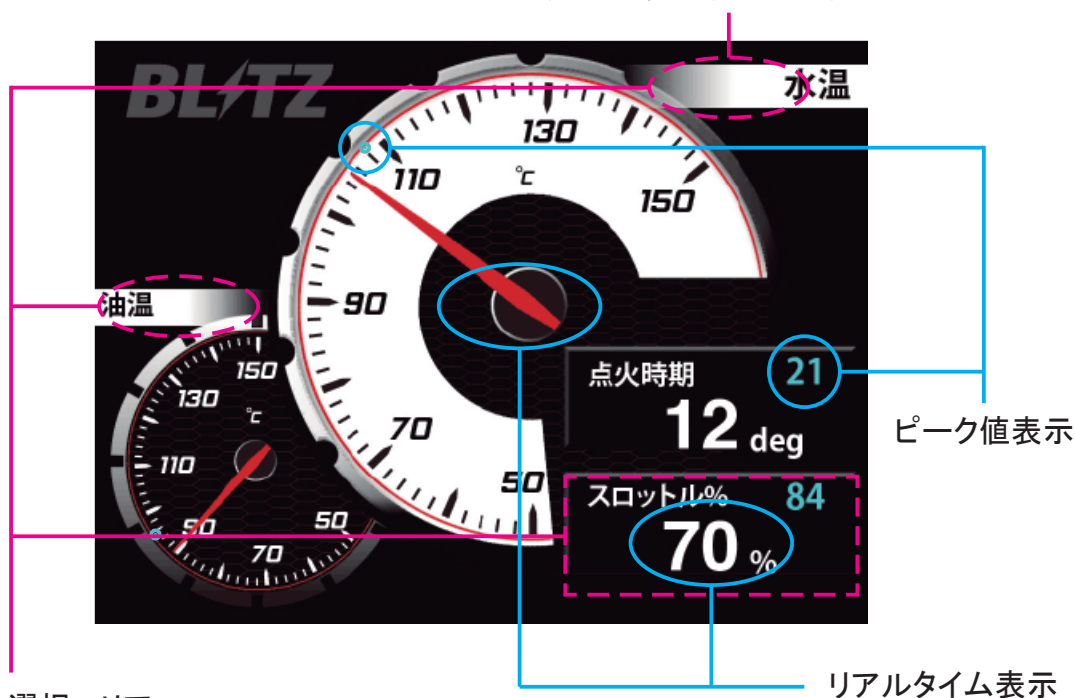




Needle

- 各種項目を大小 2 連のニードルメーターと 2 連のデジタルメーターで表示します。
 - 画面デザインは「Type86」「TypeBRZ」「TypePremium」の 3 種類から選ぶことができます。
- ※ ニードルメーターのみ基本単位を「USA」単位表示に、馬力単位を「KW」単位表示に変更しても、表示がそれぞれ「SI」「PS」となります。
- ※ ニードルメーターのスケールは変更できません。
- ※ ニードルメーターでは SENSOR JUNCTION BOX の項目は表示できません。

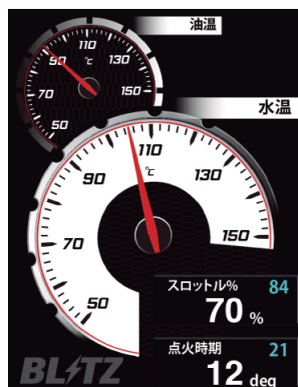
デザインの関係上項目選択エリアは項目名の帯の左側の方に配置しております。



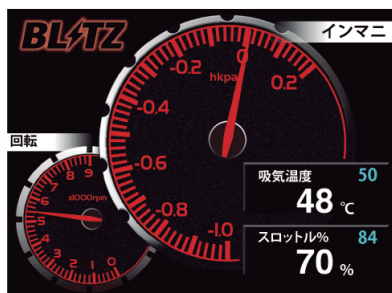
項目変更 選択エリア

- | | | |
|---------|---|--|
| 項目 (回転) | → | 任意の表示項目を選択できます。 |
| ワーニング | → | 基本設定のワーニング設定へ (P.22 へ) |
| ピークリセット | → | 選択した項目のピーク値のみリセットします。
全項目のピークリセットは基本設定のリセットへ (P.27 へ) |

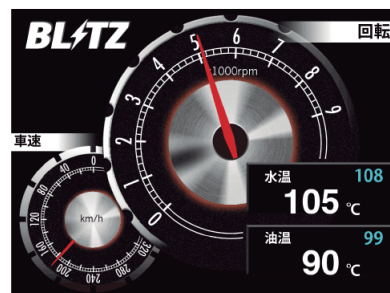
Type86
縦画面



TypeBRZ
横画面



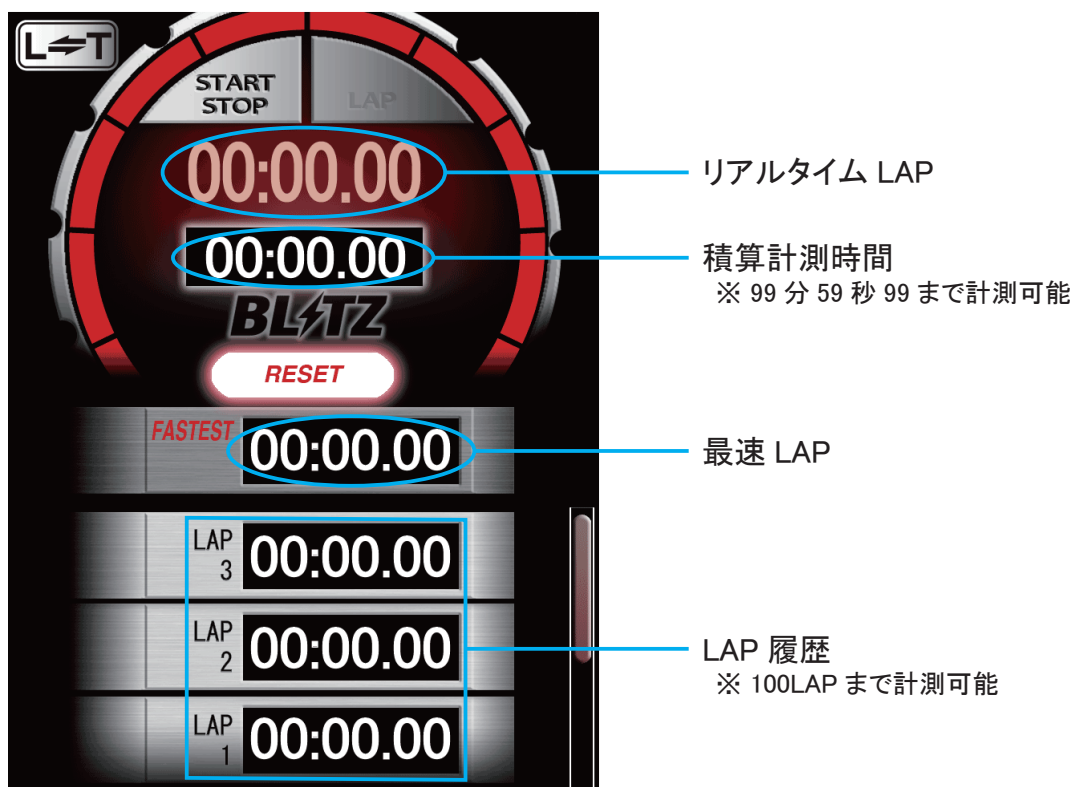
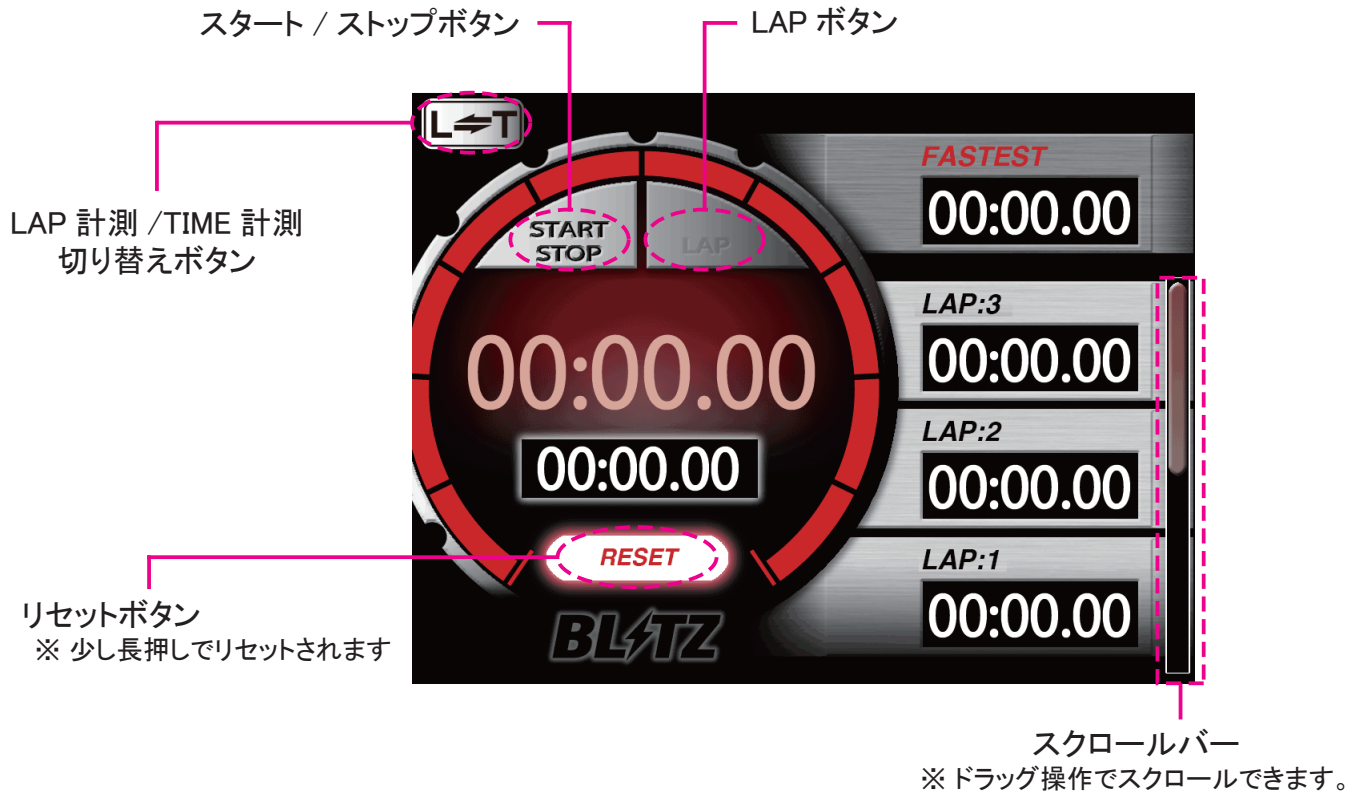
TypePremium
横画面





Trial (LAP 計測)

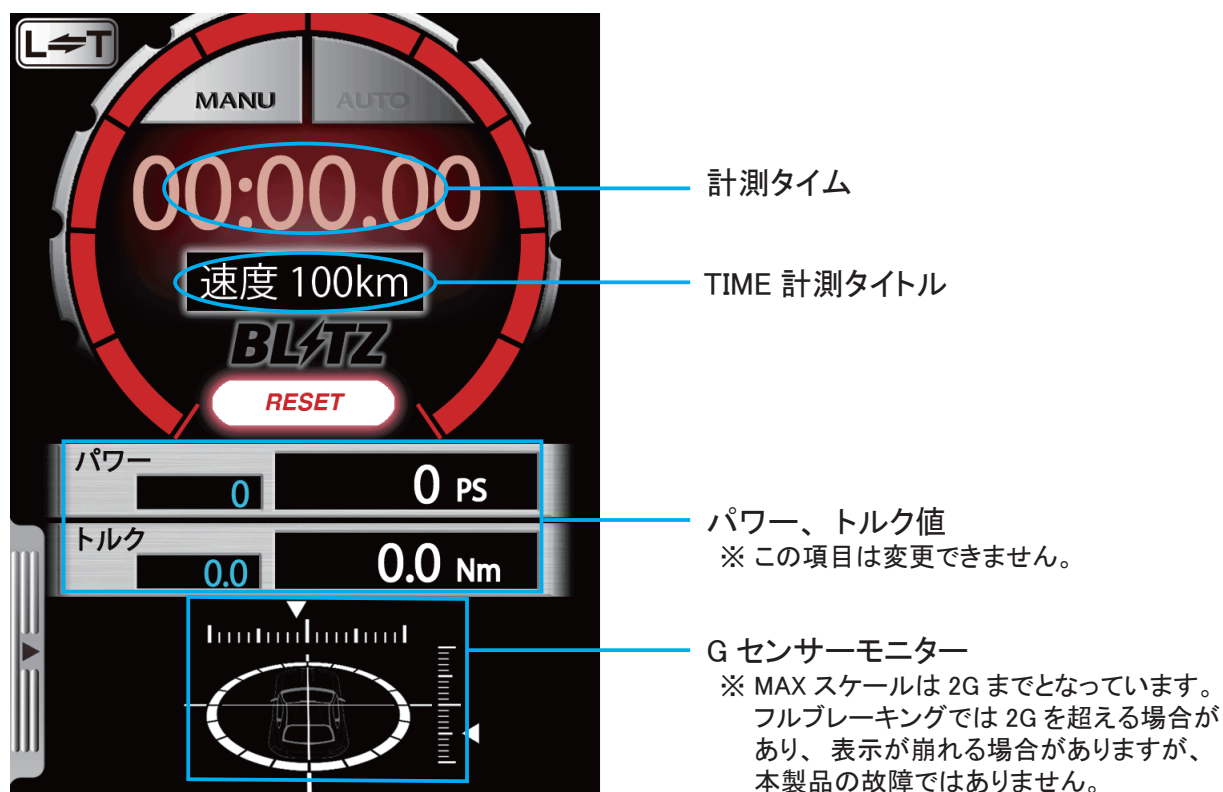
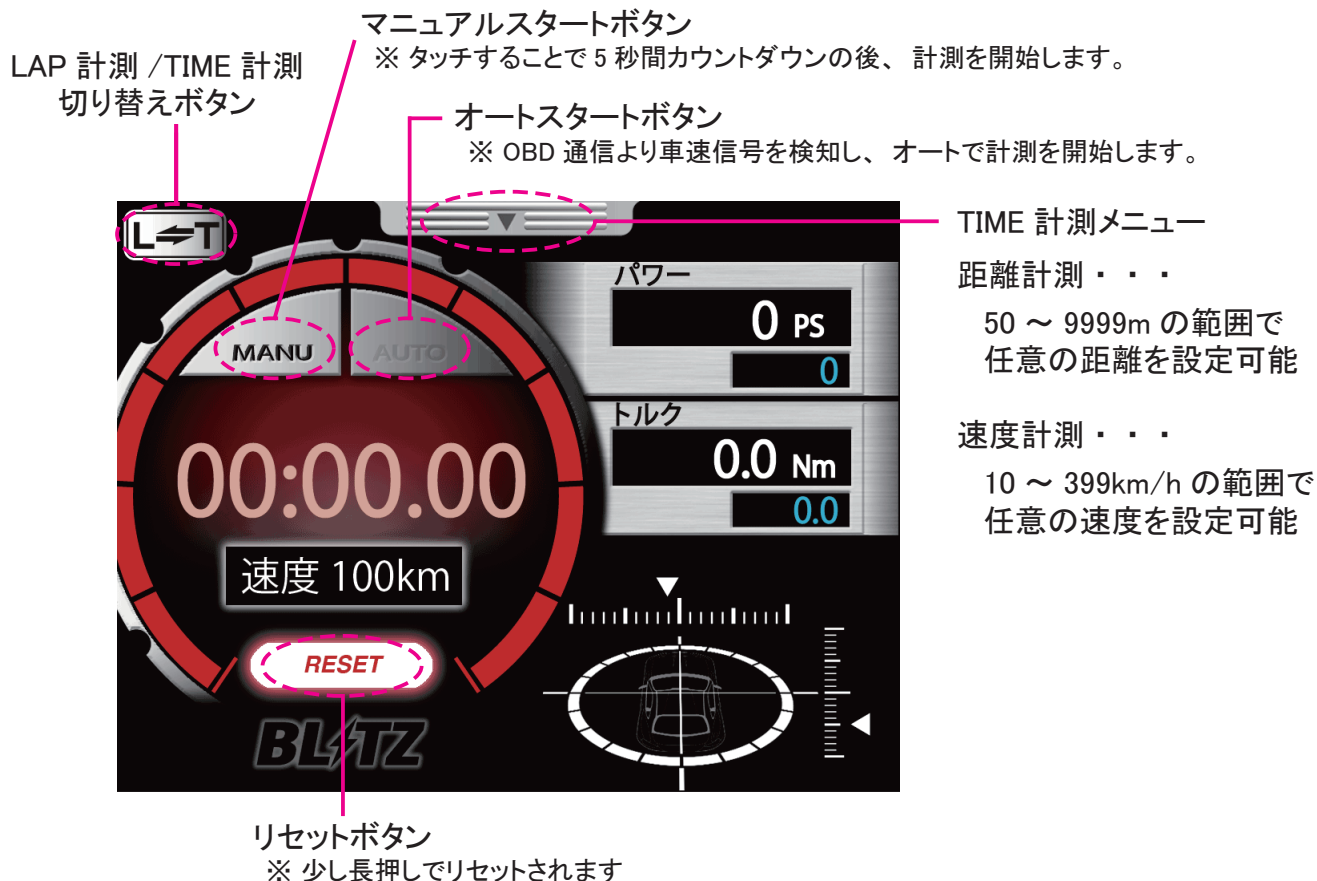
- ストップウォッチ機能により LAP タイムの計測ができます。





Trial (TIME 計測)

- ストップウォッチ機能により 0-100km/h 計測、0-400m 計測などのトライアル計測が可能。
- G センサーモニターより車両の状態を画面に表示できます。

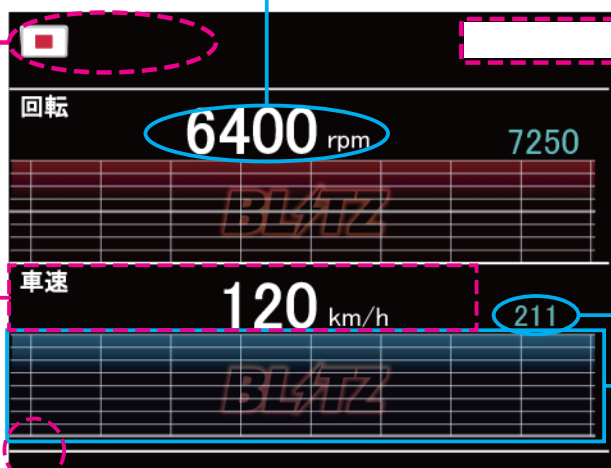




Log

- 各種項目を2連または4連のグラフ付デジタルメーターで表示します。
- デジタルメーターに連動し、8連表示で表示選択している8つの項目のログを取ることができます。
- オプションの【PC LINK CABLE】を使用することで、リアルタイムに全項目のログが取れます。

リアルタイム表示



時間表示切替

赤：経過時間
黄：記録残り時間
青：再生中

ピーク表示

グラフ表示

項目変更 選択エリア

項目 (回転)	→	任意の表示項目を選択できます。
ワーニング	→	基本設定のワーニング設定へ (P.22 へ)
スケール	→	基本設定のスケール設定へ (P.22 へ)
ピークリセット	→	選択した項目のピーク値のみリセットします。 全項目のピークリセットは基本設定の リセットへ (P.27 へ)

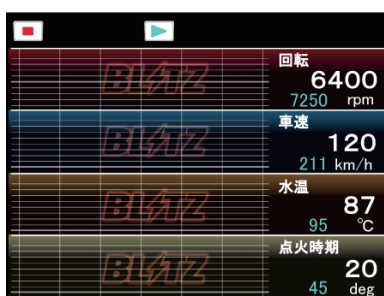
Log 画面専用
ショートカットメニュー

サンプリング	→	①
本体ログ	→	②
表示ログ	→	③
USB から読み込み	→	④
SD から読み込み	→	

2 連縦画面



4 連横画面



4 連縦画面





Log

ログ画面専用 ショートカットメニュー

① サンプルング

データの保存周期を【20ms】【50ms】【100ms】で変更できます。
 本体記録時間は【20ms】で約 15 ～ 20 分、【50ms】で約 18 ～ 22 分、
 【100ms】で約 23 ～ 28 分となります。

※ 計測項目や条件により計測可能時間は変動します。

② 本体ログ

Touch-B.R.A.I.N. 本体に保存されているデータを再生または USB メモリー、MicroSD カードにコピーすることができます。
 本体に保存可能なログデータは 1 つのみで、電源 OFF または新規保存ごとに上書きされます。

③ 表示ログ

現在表示中のデータを再生または USB メモリー、MicroSD カードにコピーすることができます。
 表示可能なログデータは 1 つのみで、電源 OFF または新規記録ごとに上書きされます。

④ USB から読み込み

SD から読み込み

USB メモリーおよび MicroSD カード内の保存データを再生します。

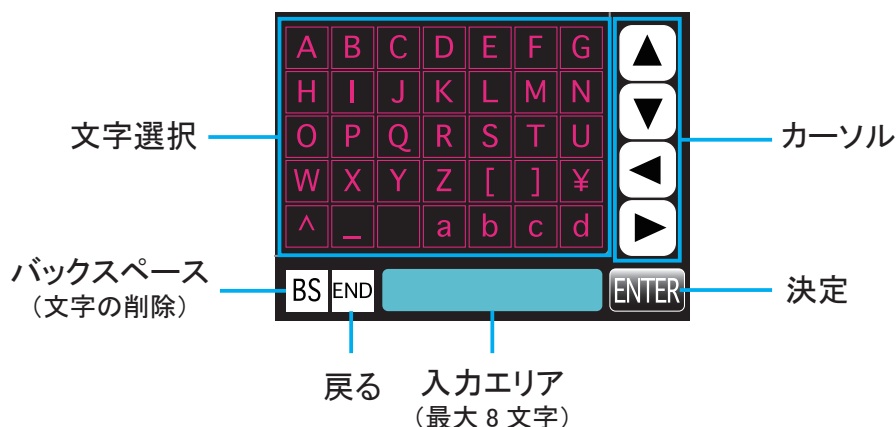
※ 本製品で使用可能な USB メモリーおよびその注意事項については（P.29）を参照してください。

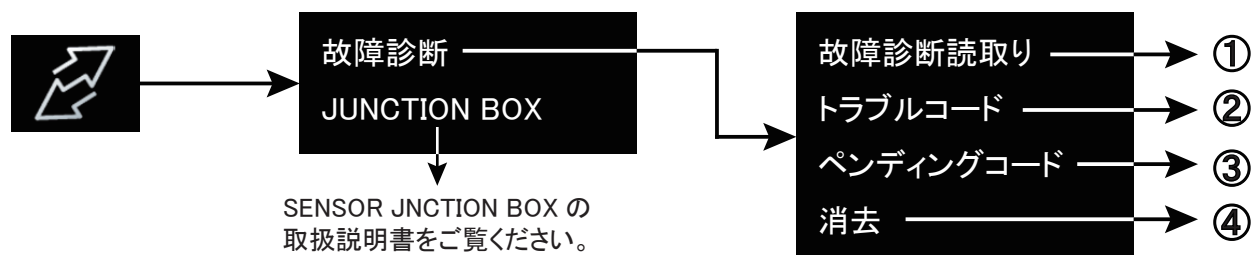
ログデータの保存

- 記録停止ボタンをタッチした時に、USB メモリーまたは MicroSD カードが挿入されていると、この時点でフラッシュメモリー側に保存することが可能です。

USB メモリーおよび MicroSD カードに直接ログデータを保存する場合、任意のファイル名でデータを作成することが可能です。

※ 本体保存および本体からフラッシュメモリーへのデータのコピーではファイル名は指定できません。





① 故障診断読取り

車両 ECU から故障コード（エラーコード）を読み取ります。
読取り結果として以下の内容が表示されます。

DTC POPUPメッセージ	項目内容
DTC SUCCESS	故障診断項目読み込み成功
DTC SUCCESS NUM ONLY	故障診断数読み込み成功
DTC NOT CONNECTED	通信不可
DTC NOT IMPLEMENTED	故障診断機能非対応（ハードウェア非対応）
DTC NOT SUPPORTED	故障診断機能非対応（ソフトウェア非対応）
DTC CONDITION NOT CORRECT	車両状態が不適切（通信不可）
DTC TIMEOUT	タイムアウトエラー（故障診断機能非対応）
DTC ERROR GENERAL	その他のエラー（故障診断機能非対応）

② トラブルコード

故障診断読取り実行後に、トラブルコードを選択すると ECU に記録されているエラーコードの内容が表示されます。

※ すべてのコードには対応していません。表示できないコードもあります。

③ ペンディングコード

故障診断読取り実行後に、ペンディングコードを選択すると ECU に仮コード（待機エラーコード）として記録されているコードの内容が表示されます。

※ すべてのコードには対応していません。表示できないコードもあります。

④ 消去

故障診断読取り実行後に、読み取れたエラーコードを消去できます。

※ すべてのコードには対応していません。消去できないコードもあります。

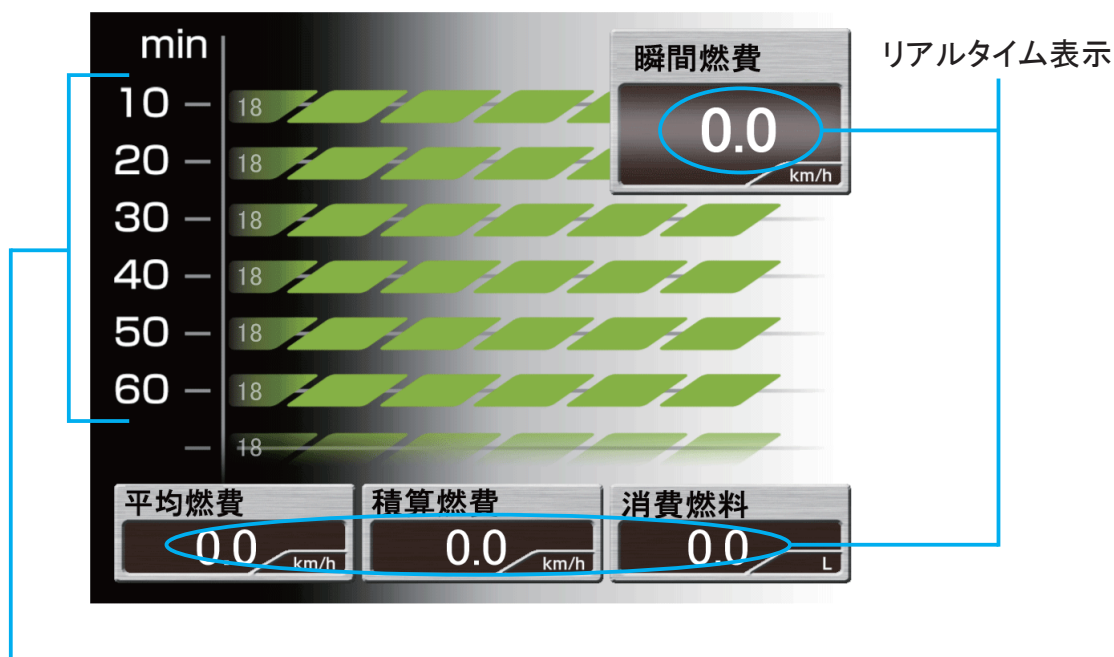
⚠ 注意 ⚠

本機能は簡易的に故障診断コード（エラーコード）の内容を表示、消去できる機能です。
本製品は故障診断機ではないため、表示することや消去することができないコードもございます。
また、本機能の故障診断内容や動作に関するお問い合わせに関しては、弊社では一切お受けできませんのでご了承ください。



Eco

- エンジン始動後から 10 分ごとに燃費の平均値をグラフで表示します。
- グラフの他に「瞬間燃費」「平均燃費」「積算燃費」「消費燃料」を表示します。



10 分ごとの平均燃費グラフ

※ 緑のバーは 1 ブロックで 3km/L を表します。

※ グラフの左端の数字はその時の平均燃費を表示しています。

※ こちらの数値はあくまでもグラフに対しての目安となります。多少、誤差がある場合があります。

Eco 縦画面





VSC/TRC

- アイコンメニュー画面の VSC/TRC アイコンを押すと下の画面へ移行します。ここでは、純正で装備されている VSC/TRC 機能を完全にカットすることができます。純正の VSC SPORTS モードや TRC OFF モードでは、制御が若干残り横滑り抑制機能やタイヤの空転抑制機能が完全にカットすることができません。しかし、本製品の VSC/TRC 完全カット機能を使用すれば、それらの制御を完全にカットすることが可能です。

※ 本機能を使用する際は次のページの『VSC/TRC 完全カット機能の動作条件と注意事項』をよくお読みください。



アイコンメニュー同様、それぞれの機能へ移動します。

画面中央部分をタッチすることで、ON/OFF スイッチと同様に VSC/TRC 完全カット状態と純正状態を切り替えることができます。

ON スイッチをタッチすると純正状態になります。

OFF スイッチをタッチすると VSC/TRC 完全カット状態になります。

純正状態



VSC/TRC 完全カット状態



※ 完全カット状態では、純正コンビネーションメーター内の表示灯と連動して画面のセンター部分に表示灯があらわれます。

⚠ 警告 ⚠

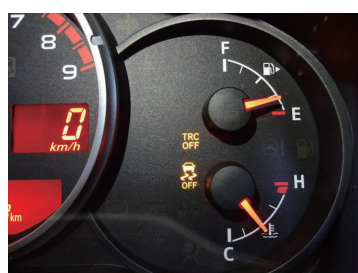
本機能は、車の安全機能である VSC（横滑り抑制機能）と TRC（タイヤの空転抑制機能）を作動させなくする機能です。VSC/TRC 完全カット機能についてしっかりとご理解いただいた上で適切な場面でご使用ください。公道走行時には本機能は使用せず、必ず VSC/TRC 機能が作動する状態で走行してください。



VSC/TRC

VSC/TRC の動作条件と注意事項

- 走行中、VSC/TRC 完全カット機能の画面タッチ操作を行っても、車両側が制御信号を受け付けず、エラー状態となります。必ず停車状態で操作してください。
- VSC/TRC 完全カット機能は、画面のタッチ操作に対し車両側の応答までにタイムラグが発生します。これは車両との通信のタイミングによるものであり、本製品の故障ではありません。タッチ操作を行う間隔は 5 秒以上開け、行ってください。
※ 短時間で画面タッチ操作を繰り返すと故障の原因となります。ご注意ください。
- VSC/TRC 完全カット機能を使用する場合、車両に装着されている純正の「TRC OFF」スイッチと「VSC SPORT」スイッチは一切使用しないで下さい。純正の「TRC OFF」スイッチと「VSC SPORT」スイッチを使用すると VSC/TRC 完全カット機能が動作しません。仮に純正のスイッチを操作してしまった場合はエンジンを再始動してください。
- VSC/TRC 完全カット機能は、エンジン水温が低い状態やファーストアイドル時には動作しない場合があります。これは車両側が本製品からの制御信号を受け付けられないよう制御されているためであり、本製品の故障ではありません。
- 本製品の VSC/TRC 完全カット機能は、エンジン停止時の制御状態を記憶しています。したがって、VSC/TRC 完全カット状態でエンジンを停止した場合、次にエンジンを始動する際も VSC/TRC 完全カット状態となります。
但し、エンジン再始動時に水温が低下している場合、VSC/TRC 完全カット状態でエンジンを停止したにも関わらず、再始動で純正状態に戻る場合があります。
この場合はエンジン暖気後、再度本製品の VSC/TRC 完全カット機能の画面タッチ操作を行い、VSC/TRC 完全カット機能を実行してください。
※ まれに水温が高い状態でも、純正状態に戻る場合があります。この場合も同様に VSC/TRC 完全カット機能の画面タッチ操作を行い、VSC/TRC 完全カット機能を実行してください。
- VSC/TRC 完全カット機能は、車両のコンビネーションメーター内にある「VSC OFF」表示灯と「TRC OFF」表示灯に連動しています。本製品で VSC/TRC 完全カット機能を実行すると「VSC OFF」表示灯と「TRC OFF」表示灯の両方が点灯します。
うまく信号のやり取りができなかった場合、メーター内の表示灯は点灯しません。完全カット機能が動作しているかどうかについては、車両のコンビネーションメーターと本製品の VSC/TRC 画面の中央部に、「VSC OFF」「TRC OFF」表示灯がそれぞれ点灯していることをご確認ください。
※ 純正の「TRC OFF」スイッチと「VSC SPORT」スイッチは一切使用しないで下さい。使用すると VSC/TRC 完全カット機能が動作しません。仮に純正のスイッチを操作してしまった場合はエンジンを再始動してください。



VSC/TRC
完全カット状態

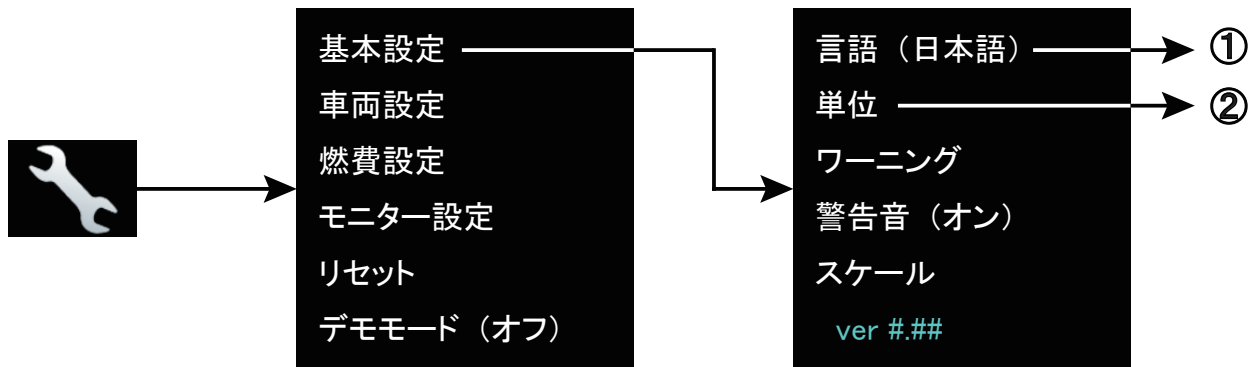
↔

表示灯が連動します



日本語表記	英語表記	単位 (SI)	内容
回転	TACHO	rpm	エンジン回転数
車速	SPEED	km/h	車両の実速度
点火時期	IGNIT	deg	BTDCで表す 点火時期
ノック補正	K-CV	° CA	クランクシャフト角度で表す、ノッキングを感じた場合の点火時期制御後の学習値
ノック制御	K-V	° CA	クランクシャフト角度で表す、ノッキングを感じた場合の点火時期
スロットル%	THROT	%	スロットルバルブの開度比率
水温	WATER	°C	エンジン冷却水温度
吸気温	INTAK-T	°C	吸入空気温度
外気温	OUT-T	°C	外気温センサーの換算値
油温	OIL-T	°C	エンジンオイル温度
AT油温	ATF-T	°C	オートマチックフルード温度 (AT車のみ表示)
インマニ	INMANI	× 100kPa	インテークマニホールド圧 (製品では表示の都合上、「hkPa」と表記しております。)
ブースト	BOOST	× 100kPa	インテークマニホールド圧 (製品では表示の都合上、「hkPa」と表記しております。)
吸入空気	MAF	g/s	エアフロセンサーで計測された吸入空気量
吸入空気%	MAF	%	1気筒あたりの充填効率を排気量から換算した割合
I/Jms	INJ	ms	1気筒あたりのインジェクターのトータル噴射時間
I/Jus	INJ	μs	1気筒あたりのインジェクターのトータル噴射時間
I/J#1us	INJ-T	μs	1気筒あたりの吸気ポート側インジェクターの噴射時間
直噴	INJ-D	μs	1気筒あたりの直噴側インジェクターの噴射時間
噴射時期	IGNIT	° CA	クランクシャフト角度で表す、直噴側インジェクターの燃料噴射時期
噴射量	F-INJ	ml	1気筒あたりのインジェクターのトータル噴射量
燃圧	FUEL-P	× 100kPa	直噴側インジェクターにかかる燃料圧力 (製品では表示の都合上、「hkPa」と表記しております。)

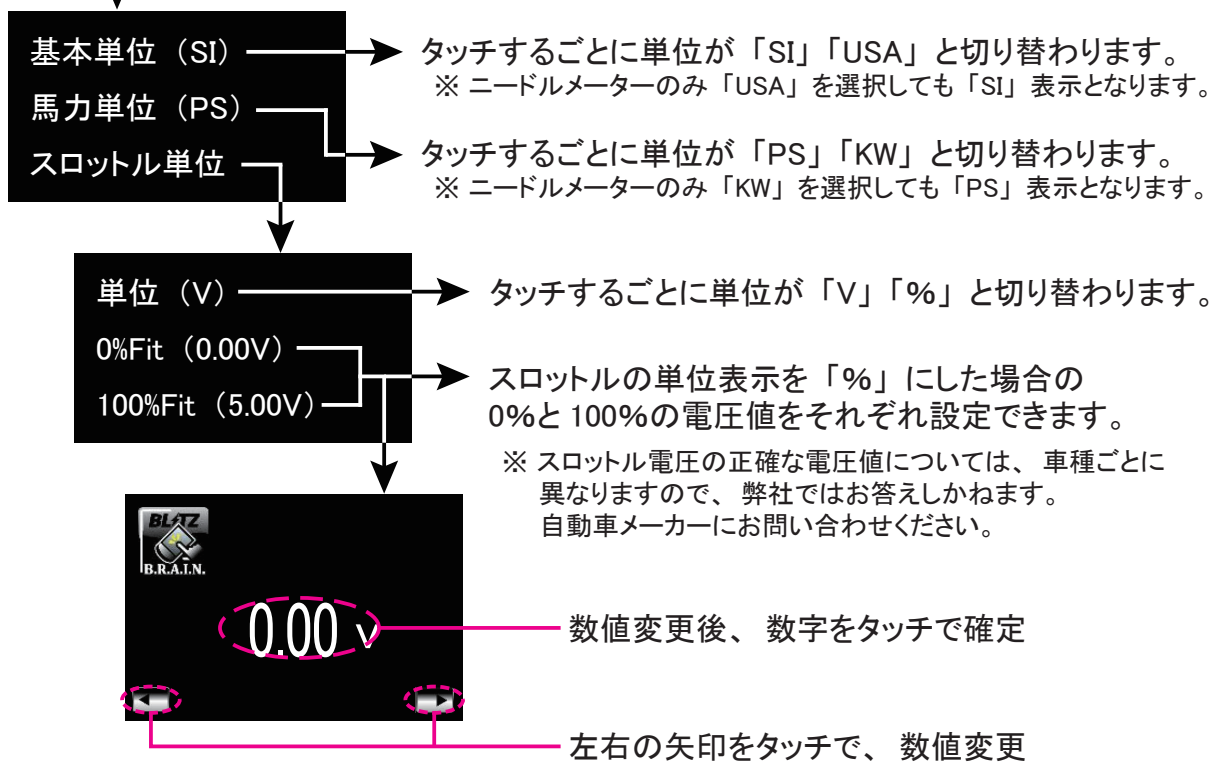
日本語表記	英語表記	単位 (SI)	内容
ギヤ	GEAR		現在のギヤポジション (OBD信号入力と手動入力の選択可)
パワー	POWER	PS	加速中の馬力 (カタログスペックとは異なる場合があります。)
トルク	TORQUE	Nm	トルク値 (カタログスペックとは異なる場合があります。)
距離	DIST	km	走行距離 (リセットを行うまで積算します。)
瞬間燃費	F-INST	km/L	走行中の燃料消費量から算出した燃費
平均燃費	F-AVE	km/L	エンジン始動後、走行開始からエンジン停止までの燃費の平均値 (エンジン停止毎にリセット)
積算燃費	F-MILE	km/L	リセットを行ってから、次のリセットまでの燃費の平均値 (リセットを行うまで積算します。)
区間燃費	F-SEC	km/L	車両が動き出してから、停止までの一区間あたりの燃費 (停車時に表示が更新されます。)
消費燃料	F-CON	L	燃料のトータル消費量 (リセットを行うまで積算します。)
Fゲージ	GAUGE	L	燃料タンク残量
燃料代	COST	yen	設定したガソリン単価から算出される燃料代金 (リセットを行うまで積算します。)
A/F1	A/F		O2センサーで計測された実空燃比
O2	O2	V	空燃比フィードバック用O2センサー (第一触媒後) の電圧値
T空燃比	T-A/F		各種制御の目標となる空燃比
実空燃比	A/F		全領域センサー (A/Fセンサー・第一触媒前) で計測された実空燃比
触媒温度	CATA-T	°C	第一触媒の排気温度
バッテリー	BTT	V	車両のバッテリー電圧
左右G	LR-G	m/s2	車両の横方向にかかるG (左旋回でプラス、右旋回でマイナスを指す)
前後G	FR-G	m/s2	車両の前後方向にかかるG (加速時にプラス、減速時にマイナスを指す)
ヨーレート	Y-RATE	° /s	車両重心の鉛直方向における回転角速度 (左旋回でプラス、右旋回でマイナスを指す)
ブレーキv	BRAKE	V	ブレーキマスターの圧力センサー電圧
ブレーキMpa	BRAKE	Mpa	ブレーキマスターにかかる液圧



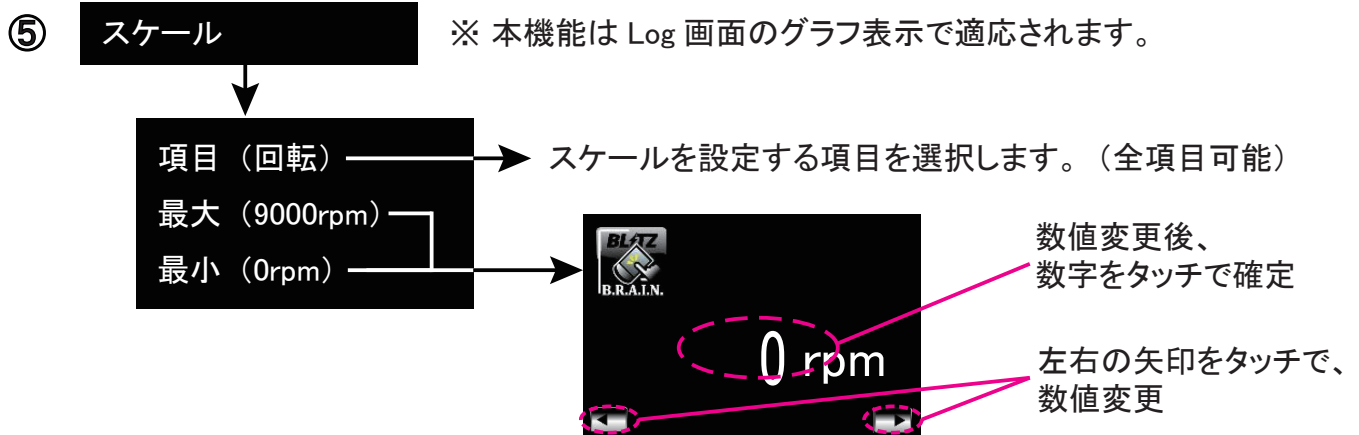
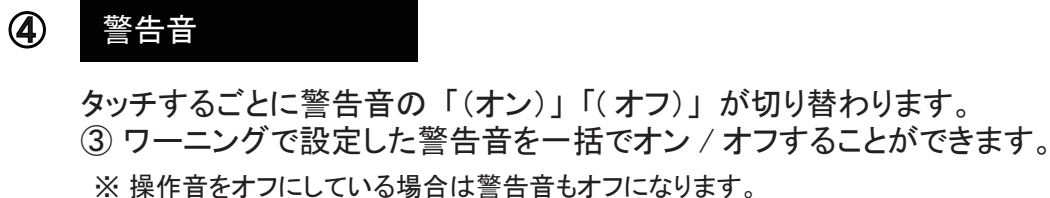
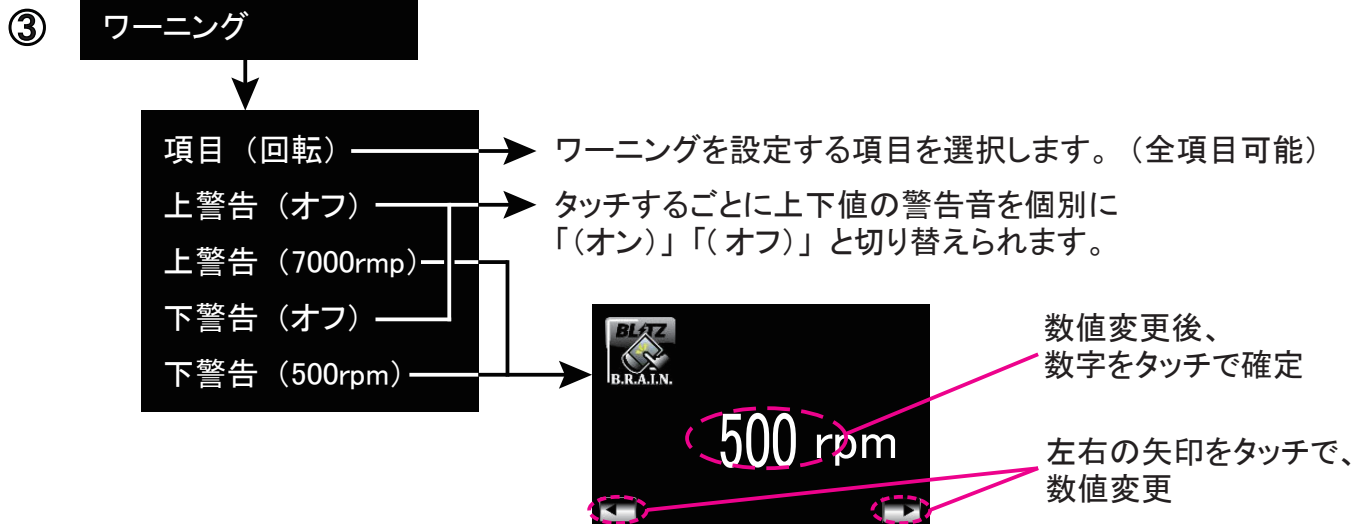
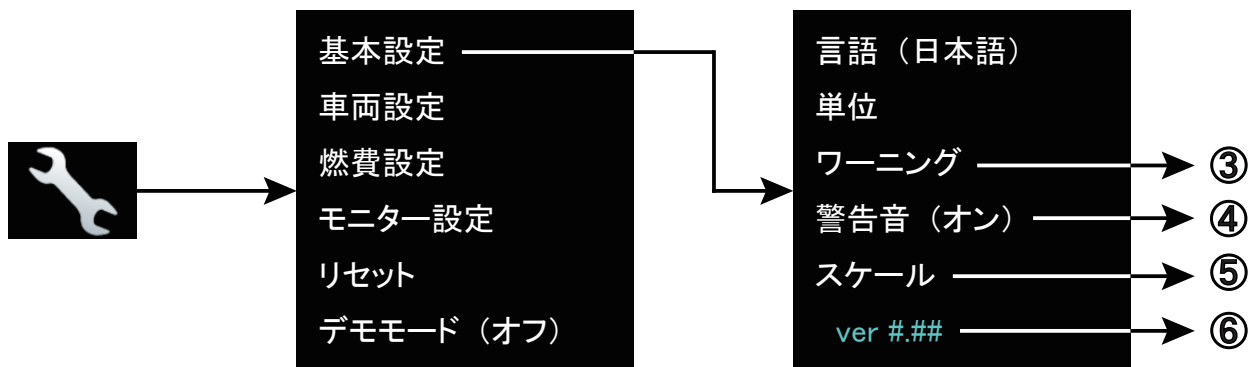
① 言語 (日本語)

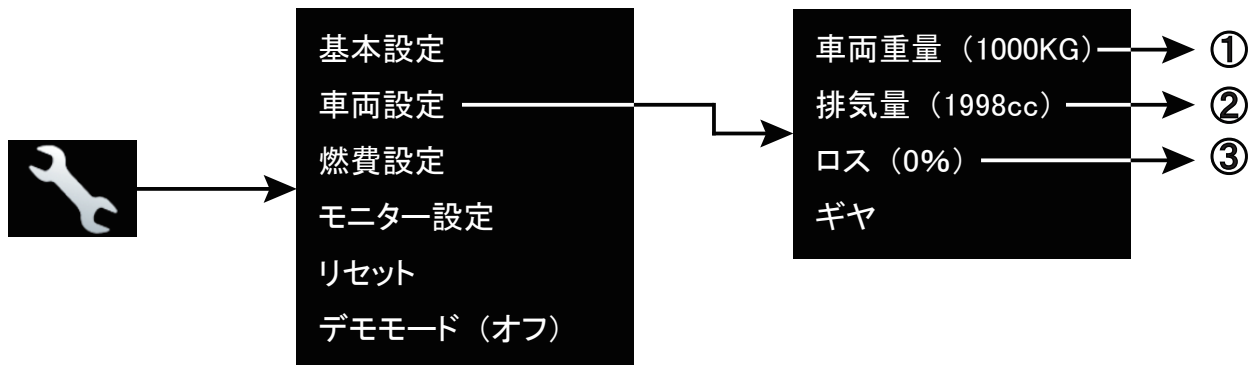
タッチすることにより言語の「言語 (日本語)」 「Language(ENG)」 が切り替わります。

② 単位



設定画面 - 基本設定





① 車両重量 (1000KG)

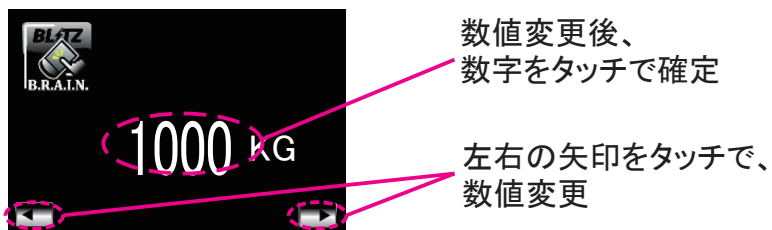
取り付けた車両の実車両重量を入力してください。
本設定はパワー項目の表示の算出に使用します。
設定値が実際よりも少ないとパワーの数値が小さく、多いと数値が大きくなります。

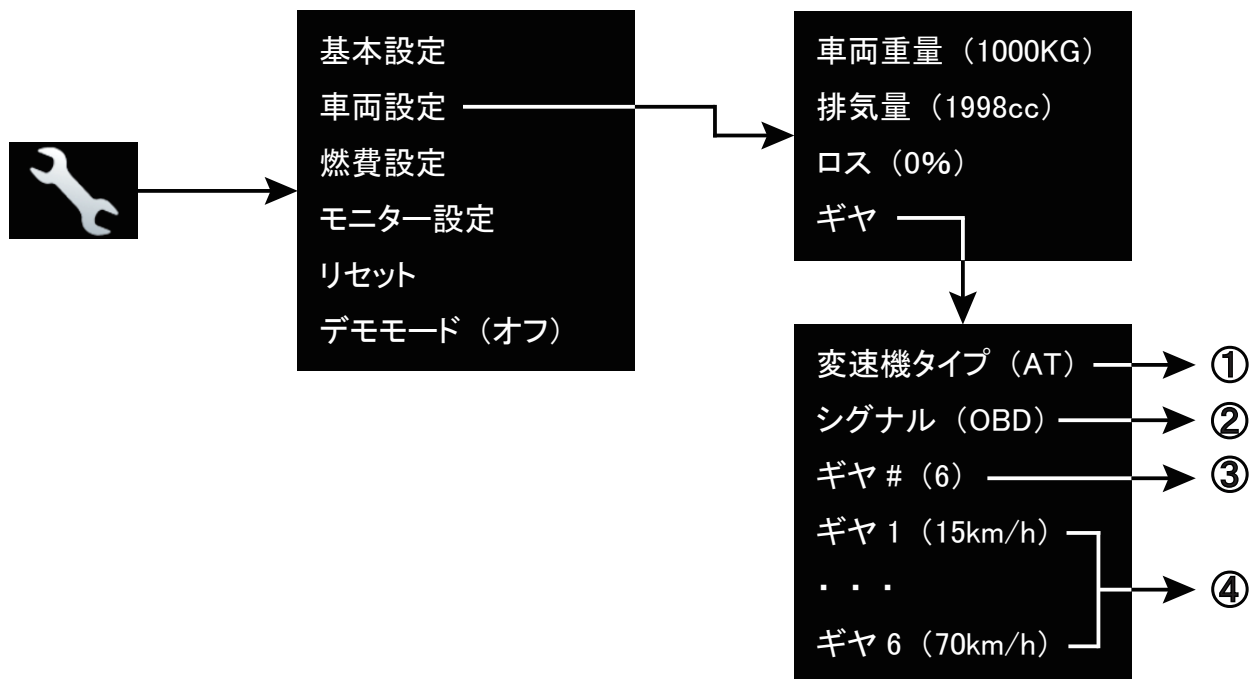
② 排気量 (1998cc)

取り付け車両の排気量を入力してください。
本設定は吸入空気量%項目の表示の算出に使用します。

③ ロス (0%)

パワー項目の表示にズレがある場合にロスを入力してください。
通常は「0%」のまま使用してください。
ロス数値を大きくするとパワーの数値が大きくなり、ロスを小さくするとパワーが小さくなるよう補正をかけることができます。





- 本製品は OBD II の信号よりギヤ項目表示を行う機能が備わっております。トランスミッションのギヤ比の変更や、最終減速ギヤ（ファイナル）のギヤ比の変更を行った際に、手動にて設定を行ってください。

① 変速機タイプ

タッチすることに変速機タイプが「(AT)」 「(MT)」と切り替わります。

② シグナル

タッチすることによりギヤ項目表示情報が「(OBD)」 「(MANUAL)」と切り替わります。
「OBD」設定は車両からの信号を元にギヤポジションを表示しますので以下の設定は反映されません。「MANUAL」設定では OBD からの信号を使用せず、以下の設定を元にギヤを表示します。

③ ギヤ

トランスミッションのギヤ数を入力してください。

④ ギヤ 1 ～ 6

それぞれのギヤにおいて、2500rpm で走行した際の実際の車速値を入力してください。
数回計測を行い、その平均値を入力してください。

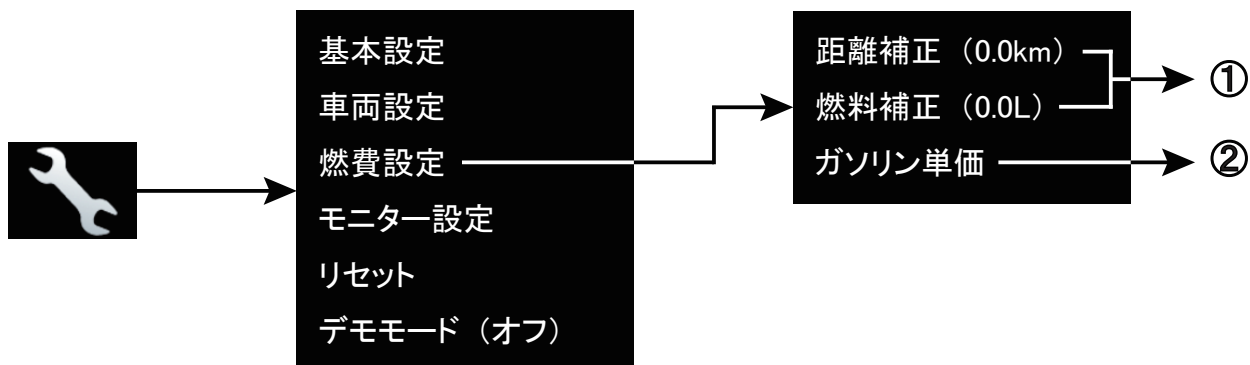
※ MT 車ではシフトチェンジに時間がかかった場合などに、一時的に異なるギヤを表示する場合があります。

※ AT 車ではトルクコンバーターの影響によりアクセル OFF 時に、一時的に異なるギヤを表示する場合があります。

⚠ 注意 ⚠

運転者は走行中に本機能の設定を行わないでください。必ず同乗者に依頼するか、シャシダイナモ上で計測を行ってください。

設定画面 - 燃費設定



① 距離補正

燃料補正

距離、燃料の補正を行うことで距離項目および各種燃費項目の精度を高めることができます。

満タン給油（計測開始時）

- ・ 車両のトリップメーターをリセット
- ・ Touch-B.R.A.I.N. の燃費表示をリセット（P.27 へ）

※ 繰り返し行うことで精度が高くなります。

次の満タン給油

車両のトリップメーターおよび実際の給油量が Touch-B.R.A.I.N. の燃費設定の距離および燃費補正の右側の数値（①部分）とズレている場合、それぞれの項目の数値に実際の数値を入力してください。

数値にズレがない場合は数値入力画面で数値を変更せず、表示されている数字部分をタッチして確定してください。



数値変更後、または変更がない場合、数字をタッチで確定

左右の矢印をタッチで、数値変更

※ 距離および燃費補正を実行すると、距離・消費燃料、燃料代はリセットされます。

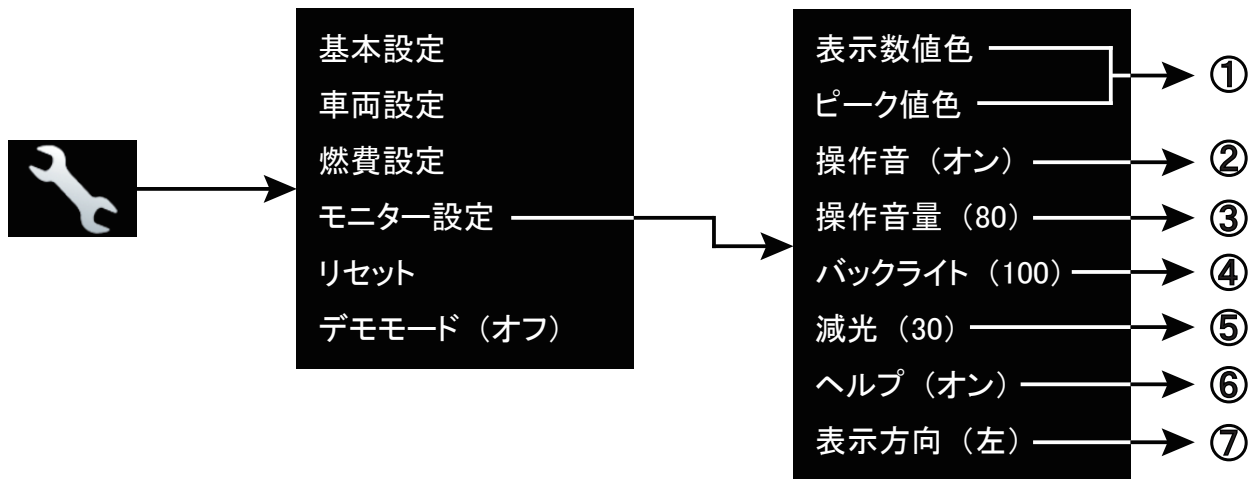
※ 本機能は 100km 以上走行しなければ精度が上がらない場合があります。

※ 本機能はシステムの関係上、999.9km までしか表示することができません。

② ガソリン単価

本設定は燃料代項目の表示の算出に使用します。

※ 本製品の燃料代項目の表示機能は給油後、次の給油までの間にガソリン単価を変更した場合、単価変更前に算出した燃料代に、単価変更後に算出した燃料代を加算する方式を採用しています。



① 表示数値色

ピーク値色

表示数値、ピーク値の文字色を変更することができます。
「赤」「青」「黄」「緑」「紫」「白」「橙」「桃」「灰」「水」の中から選ぶことができます。

② 操作音

タッチするごとに操作音が「(オン)」「(オフ)」と切り替わります。

③ 操作音量

タッチしたときの操作音を任意の大きさに調節できます。

④

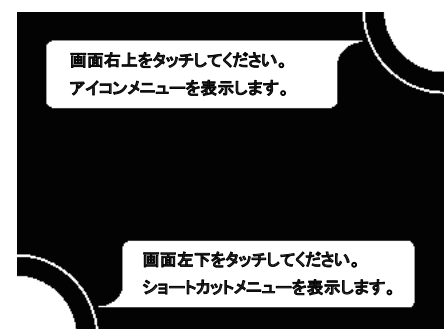
バックライトの明るさを任意の輝度に調節できます。

⑤ 減光

減光時のバックライトの明るさを任意の輝度に調節できます。
減光機能のオン / オフについてはショートカットメニューにて行うことができます。(P.8 へ)

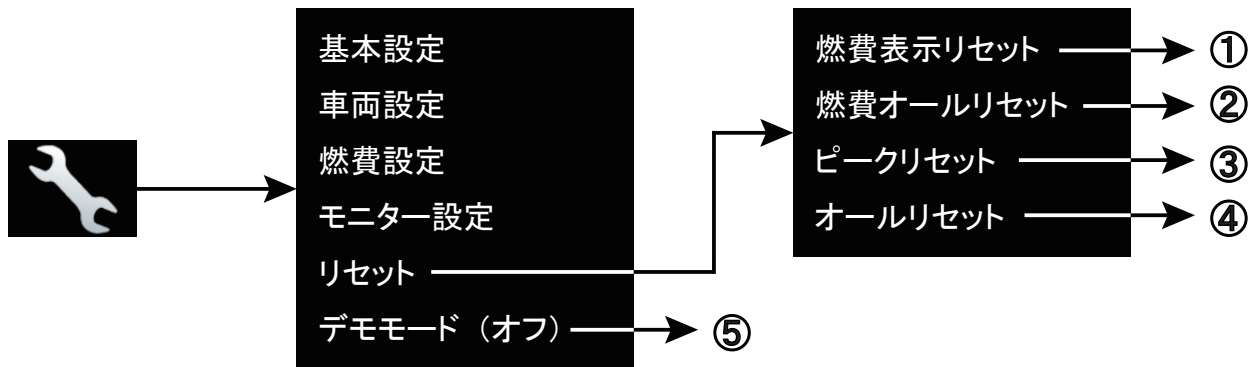
⑥ ヘルプ

メニュー画面からメーター画面に切り替えた際に表示される
右図のヘルプのオン / オフを切り替えることができます。
タッチするごとにヘルプが「(オン)」「(オフ)」と
切り替わります。



⑦ 表示方向

タッチするごとにモニターの表示向きを「縦」「右」「左」と切り替えることができます。



① 燃費表示リセット

距離、平均燃費、積算燃費、燃料消費量、燃料代の各項目の表示数値がリセットされます。距離補正や燃料補正で補正した学習値はリセットされずに残ります。

② 燃費オールリセット

距離、平均燃費、積算燃費、燃料消費量、燃料代の各項目の表示数値および、距離補正、燃料補正で補正した学習値の全てがリセットされます。

③ ピークリセット

全ての項目のピーク値が一括でリセットされます。
項目ごとに個別にピーク値をリセットする場合は、メーター画面表示中にそれぞれの項目を選択し、リセットを行ってください。

④ オールリセット

全ての保存データ、設定項目を初期化し、工場出荷状態に戻ります。

⑤ デモモード

タッチするごとにデモモードの「デモ 1」「デモ 2」「オフ」が切り替わります。
本機能は商品展示用機能です。
表示される項目や数値、動作については実際と異なる場合があります。

SENSOR JUNCTION BOX

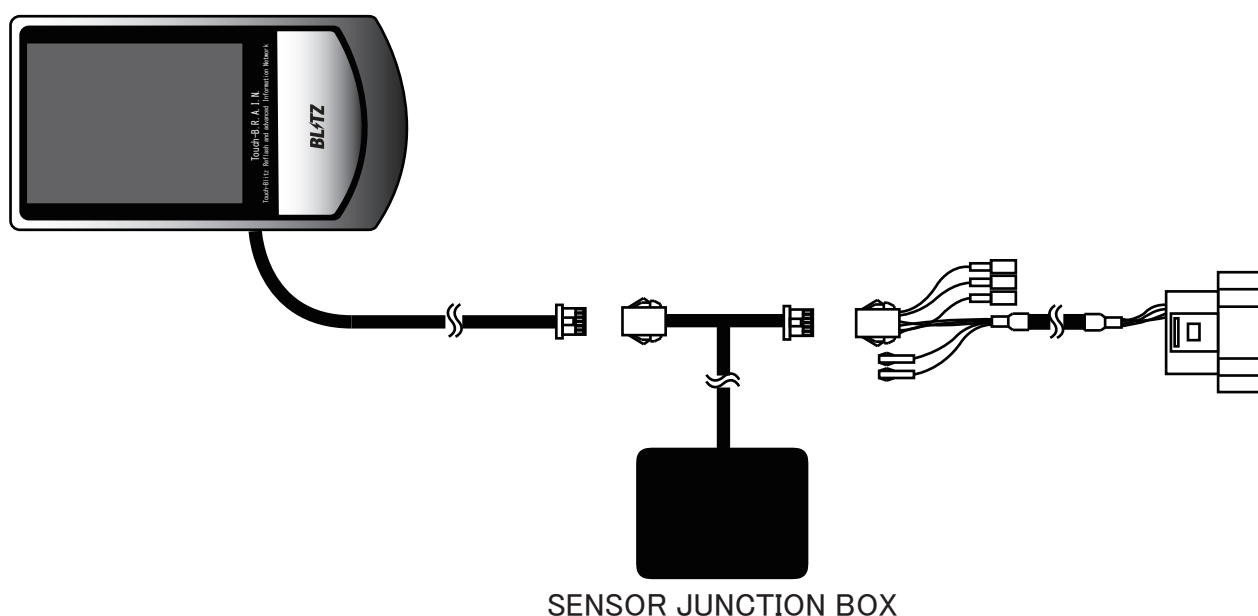
- SENSOR JUNCTION BOX を使用することで、Touch-B.R.A.I.N. のみでは表示できないデータ、数値の表示やより精度の高いデータを外部センサー・信号の入力により Touch-B.R.A.I.N. に表示することが可能となります。

- BOOST×1、TEMP×1、PRESS×2、SPEED×1 の外部センサー・信号が入力可能です。

※ SENSOR JUNCTION BOX の項目は「Needle」の2連ニードルメーターでは表示できません。「Digital」「Log」および「Needle」の2連デジタルメーターでの表示となります。

商品名	コード No.	本体価格
SENSOR JUNCTION BOX	15165	¥18,000

※ 商品の接続方法、使用方法については、その商品の取扱説明書を参照してください。



フラッシュメモリの使用について

USB メモリ

- ・ Touch-B.R.A.I.N. のバージョンアップ
- ・ ロギングデータの保存



対応容量
【 ～ 4GB 】

ファイルシステム
【 FAT32 】

アロケーションユニットサイズ
【 2048～4096 バイト 】

※ フォーマットは右図参照



※ 本製品の USB ポートでは電源の供給はできません。

MicroSD カード

- ・ ロギングデータの保存



対応容量
【 ～ 2GB 】

ファイルシステム
【 FAT32 】

アロケーションユニットサイズ
【 512 バイト 】

※ フォーマットは右図参照

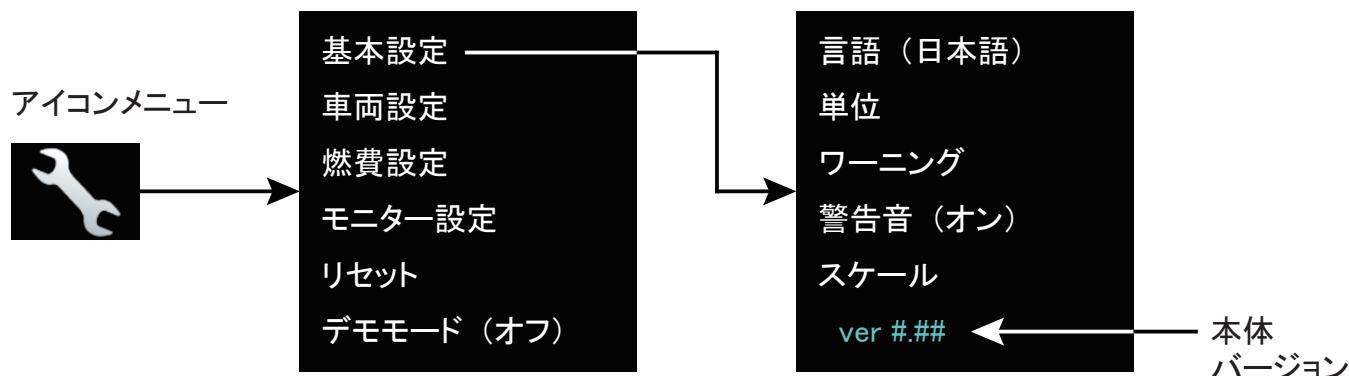


⚠ 注意 ⚠

- ・ USB メモリおよび MicroSD カードには向きがあります。誤った向きに挿入すると本製品および USB メモリ、MicroSD カードが破損する恐れがありますので、ご注意ください。
- ・ MicroSD カードの挿入口には若干の隙間があります。カードを斜めに挿入すると、カードが本体ケース内部に入り込み取り出せなくなる可能性がありますので、ご注意ください。
- ・ 本製品で使用する USB メモリおよび MicroSD カードには、本製品で使用するデータファイル以外のデータを保存しないでください。本製品が正常に動作しない可能性があります。
- ・ 市販の USB メモリおよび MicroSD カードの中には、動作可能容量であっても本製品で認識せず、正常に動作しないものもございます。あらかじめご了承ください。

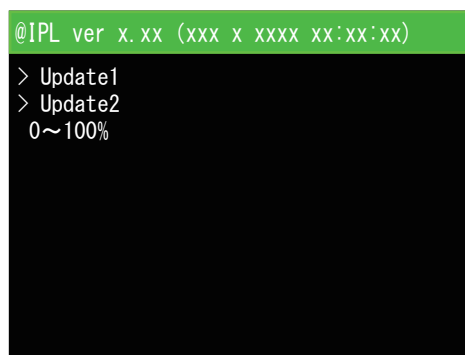
バージョンアップについて

本体 Ver の確認方法

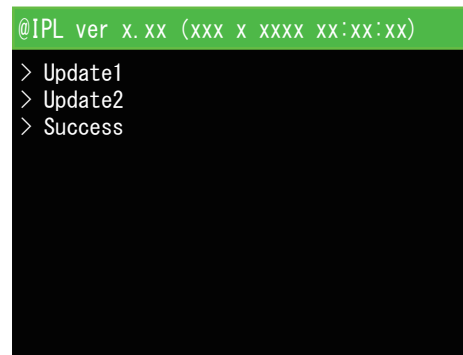


バージョンアップ手順

- ① 弊社ホームページのオーナー様専用ページより最新のバージョンアッププログラムをダウンロードしてください。
※ バージョンアッププログラムのダウンロードにはカスタマー登録が必要です。(P.32 へ)
※ 最新のバージョンについては、本製品の Web サイトをご確認ください。
- ② ダウンロードした圧縮ファイル内の【86tbrain.bin】【86bbrain.bin】の 2 つのファイルをお手持ちの USB メモリーに保存してください。
※ 本製品で使用可能な USB メモリーおよびその注意事項については (P.29) を参照してください。
- ③ Touch-B.R.A.I.N. の電源 OFF (エンジン停止) 状態で、USB メモリーを本体に挿し込んでください。
- ④ Touch-B.R.A.I.N. の電源 ON (IG-ON する) ことで、自動的にバージョンアップが開始されます。
- ⑤ バージョンアップが完了すると、自動的にメニュー画面が表示されます。
USB メモリーを抜き、オールリセットを行ってください。
- ⑥ エンジンを再始動し、本体バージョンが最新のバージョンになっているかを確認してください。



バージョンアップ中



バージョンアップ完了

※ 本製品、Touch-B.R.A.I.N. Exclusive for the 86/BRZ (No. 15173) には Touch-B.R.A.I.N. (No. 15158) 用のバージョンアッププログラムは使用できません。バージョンアップを行おうとしても、バージョンアッププログラムを認識せず、上記のバージョンアップ画面に移行しません。

⚠ 注意 ⚠

- ・ バージョンアップ中に故障診断コネクタ (OBD II コネクタ) を引き抜くなど、Touch-B.R.A.I.N. の電源は絶対に切らないでください。プログラムが破損し、動作しなくなる可能性があります。
- ・ 使用する USB メモリーにはバージョンアッププログラム以外のデータは保存しないでください。バージョンアップが正常に完了しない可能性があります。

トラブルシューティング

本製品の使用にあたり、正常に動作しない場合などは下記項目をチェックしていただき、症状の確認と不具合の改善を試みてください。
 ご確認いただいても症状が改善しない場合は、販売店・取り付け店にご相談いただくか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

症状	原因および対策
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本体のハーネスおよび OBD ハーネスが確実に接続されていますか？ ・ OBD ハーネスの水色オスコネクタにシガープラグを接続していますか？
電源が切れない ON/OFF を繰り返す	<ul style="list-style-type: none"> ・ OBD ハーネスの水色オスコネクタにシガープラグを接続していますか？
通信エラー (Connection Failure) になる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 車両との通信が正常に行われていません。接触不良がないか確認してください。 ・ 装着車両の ECU を社外品または書き換えを行っていませんか？ ECU 交換や書き換えを行っている場合、通信が純正 ECU と異なるため、エラーとなる場合があります。
タッチパネルが反応しない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 表示項目の変更や画面の切り替え直後は通信を行う関係上、多少反応が鈍くなる場合があります。 ・ 対応容量以上の USB メモリーを挿入すると、本製品では認識できず、フリーズする場合があります。
純正メーター（純正值）と誤差がある	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本製品は ECU のエンジン制御データを表示しています。純正の ECU とメーターとで多少の誤差が生じている場合がありますが、本製品の故障ではありません。 ・ 装着車両の ECU を社外品または書き換えを行っていませんか？ ECU 交換や書き換え、またはセンサーに対して疑似信号を出力する製品が装着されていると誤差が生じる場合があります。
表示されない項目がある	<ul style="list-style-type: none"> ・ MT 車では AT 油温の項目は表示できません。 ・ 車両の仕様変更やグレードの違い、年式の違いなどで、表示できる項目が異なる場合があります。
画面が暗い	<ul style="list-style-type: none"> ・ バックライトの輝度設定が暗くなっていたり、減光機能が ON 状態になっていませんか？
画面がちらつく	<ul style="list-style-type: none"> ・ バックライトの輝度設定を調整してください。見る角度と、輝度の設定値によっては、液晶がちらついているように見える場合があります。
バージョンアップができない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用している USB メモリーは本製品に対応するものですか？使用可能範囲の USB メモリーでも、本製品との相性が合わず使用できない場合があります。 ・ 使用している USB メモリー内にバージョンアッププログラム以外のデータファイルを保存していませんか？ ・ バージョンアッププログラムを間違えていませんか。本製品は 86/BRZ 専用モデルです。対応しないプログラムではバージョンアップは行えません。
ログデータが保存できない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用している USB メモリー、MicroSD カードは本製品に対応するものですか？使用可能範囲の USB メモリー、MicroSD カードでも、本製品との相性が合わず使用できない場合があります。 ・ 使用している USB メモリー、MicroSD カード内に本製品で使用するデータファイル以外のデータを保存していませんか？
VSC/TRC が OFF にならない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 走行中に VSC/TRC をカットする操作を行っても、車両が信号を受け付けずエラーとなり VSC/TRC は OFF 状態になりません。車両を停車させた状態で操作してください。 ・ エンジン水温が低い状態で VSC/TRC の OFF 操作を行っても、車両が信号を受け付けず、VSC/TRC が OFF 状態にならない場合があります。エンジンが暖気後に再度 VSC/TRC を OFF する操作を行ってください。
VSC/TRC の反応が悪い	<ul style="list-style-type: none"> ・ VSC/TRC の ON/OFF 操作を行っても、車両との通信のタイミングにより多少のタイムラグが発生します。本製品の故障ではありません。

製品保証とカスタマー登録について

本製品には製品保証を設けております。
製品保証を受けるためには下記カスタマー登録が必要になります。

保証内容について

- 弊社の製品保証は、保証書に記載されたお客様、製品期間、保証規定に基づいて、本製品が正常なご使用状態で製造上の原因による故障が生じた場合には、弊社による製品の無償保証をお約束するものです。したがってカスタマー登録後、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。また、いずれかひとつでも保障規定の免責事項に該当する場合は、保証期間内であっても保証対象外となりますので、予めご了承ください。
- 弊社は印刷物の内容に万全を期しておりますが、万が一、印刷の誤りなどがあった場合には、弊社は一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。
- 弊社は必要とみなした場合に予告なしに保証規定を改定する権利を有しております。当規定において保証内容の変更があった場合、改定後の保証内容に基づいて保証させていただきます。
- 本製品が原因で生じた傷害（車両トラブル、その他の事故一切）や自動車が使用できなかったことによる損失などにつきましては、一切の保証は致しかねます。また、その際に発生するすべての費用（脱着工賃、関連作業工賃、送料・関連して生じた直接および間接の損失、損害）につきましても、弊社では一切責任を負いかねますので予めご了承ください。

カスタマー登録について

お買い上げいただいたお客様に弊社規定に基づいた製品保証を提供させていただくために「カスタマー登録」をお願い致します。

下記 Web サイトよりオンライン上で簡単に登録が可能ですので、必ずご登録をお願い致します。パソコンをお持ちでないお客様は弊社サポートセンター（0422-60-2277）までお問い合わせください。尚、カスタマー登録されていない場合、保証期間内であっても保証対象外となりますので、ご注意ください。

<http://www.blitz.co.jp/support/registration/registration.html>

株式会社ブリッツ（以下「当社」といいます）はお客様からお預かりした個人情報の保護はきわめて重要なことと認識しており、関係法令および規範を厳守し、以下の個人情報保護を定め確実な履行に努めてまいります。

- 当社では、お客様へのサービスの充実や製品の品質向上、また採用活動のため、必要な範囲でお客様の個人情報を収集することがあります。収集するにあたっては、できる限り目的を限定し、お客様の同意を得たうえで適切な方法で収集いたします。
- 当社は、お客様の個人情報を、お客様の同意なしに義務委託先以外の第三者に提供することはありません。ただし、法令により開示を求められた場合、または裁判所・警察等の公的機関から開示を求められた場合はその限りではありません。
- お客様自身のお申し込みがあった場合、情報の開示・訂正・削除を速やかに行います。

製品についてのお問い合わせ

連絡先	株式会社ブリッツ サポートセンター
所在地	〒202-0023 東京都西東京市新町 4-7-6
T E L	0422-60-2277
F A X	0422-60-0066
U R L	http://www.blitz.co.jp/

発売元

発売元	株式会社ブリッツ
所在地	〒202-0023 東京都西東京市新町 4-7-6
取扱説明書番号	1517304
初版作成年月日	2016 年 3 月 10 日

BL⚡TZ
